

# 10 取引拒絶系

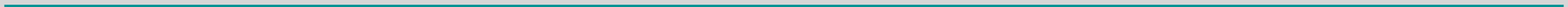
## (入口・本体)

独禁法の講義2022-10k

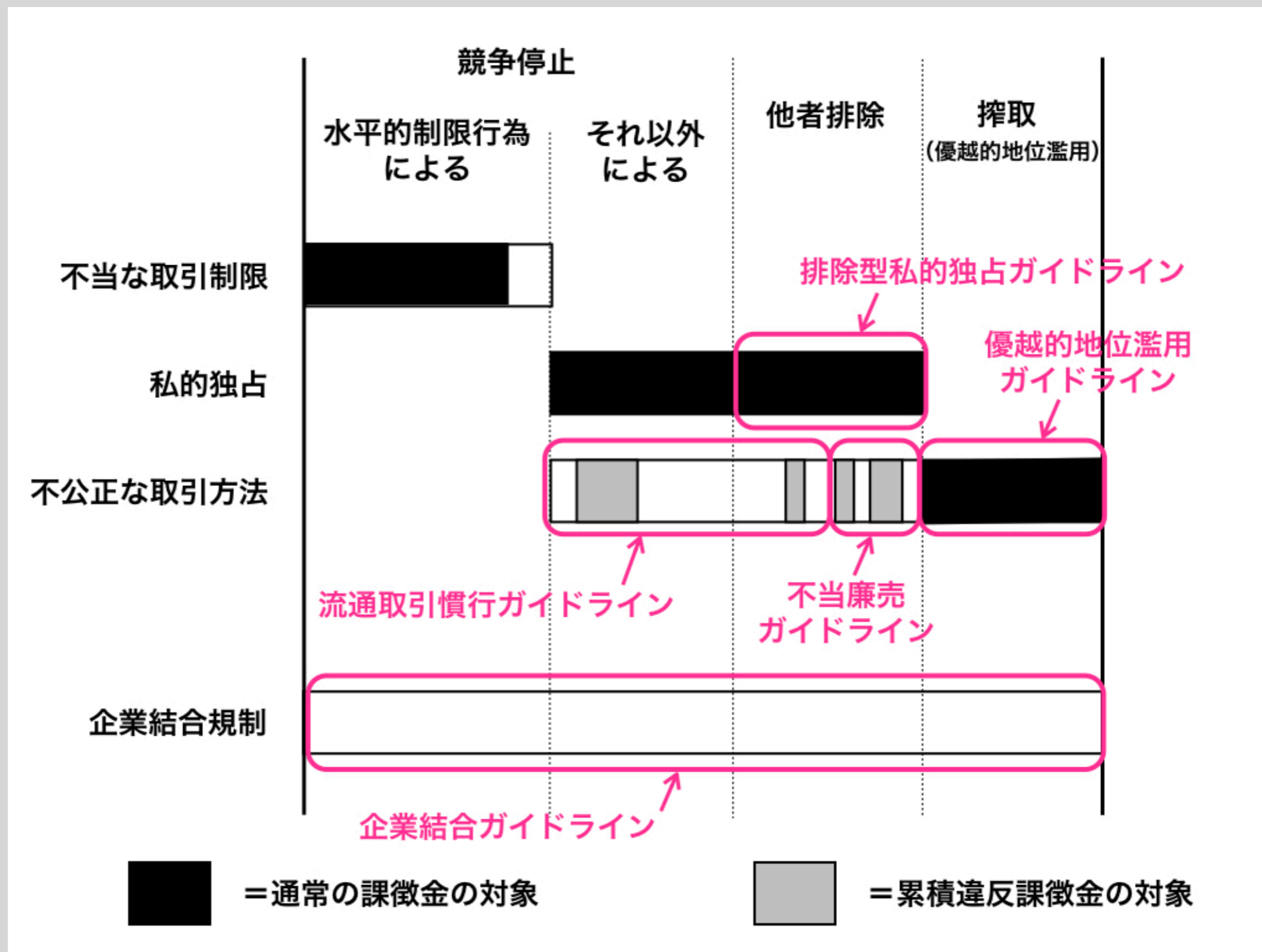
~~独禁法オンデマンド講義2022~~

---

入口



# このユニットの位置付け



4

9k154-172

10k 159-176

159-163

\* 154-159 総論（他者排除行為の）

160

\* 156の図がわかればよい、という感じ

164-176

\* 159-172 取引拒絶系

\* 以下は、1巡目は見なくてもよい

165a下半分

▶ 161の上半分 日本の条文の話

171-172

▶ 167-168 応用的な話

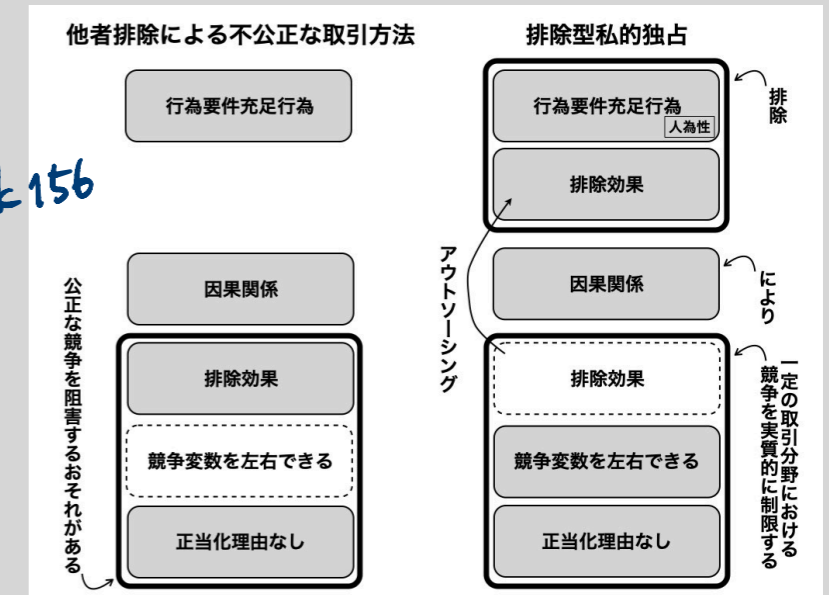
▶ 169-172 日本の条文の話

173-176

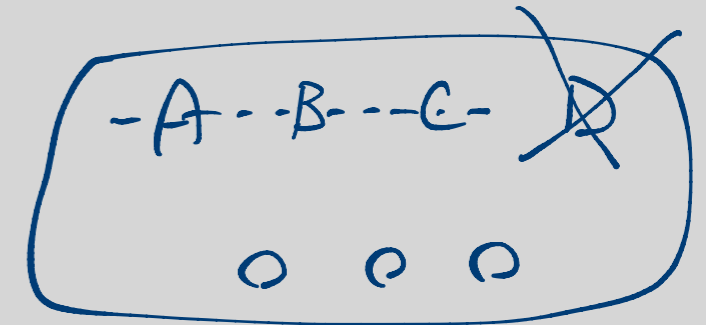
本体

---

- \* 「排除効果」
  - \* 著しい競争上の不利益
    - ▶ 完全でなくてよい
    - ▶ 蓋然性でよい



- \* 「人為性」 = 自己の商品役務の優秀性によるもの（competition on the merits によるもの）ではない行為
- \* 原則論貫徹説と排除効果重視説
- \* 排除者と被排除者との間の競争関係は不要



# 取引拒絶系の行為要件159-160,163 10k164-165,168

- \* 取引拒絶またはそれに準じる差別的取扱いがあれば満たす
- \* 対比 略奪廉売系ではコスト割れが必要
- \* 自分で取引拒絶等をする場合もあれば他の者にさせる場合もある

→ 9k160 の図表  
10k165

# 交通整理

- \* 弊害が起こるメカニズムに着目した的確な議論

- \* 差別対価

- \* 取引拒絶系

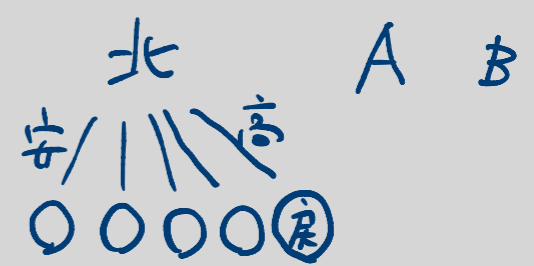
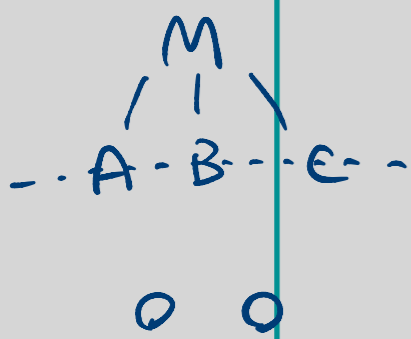
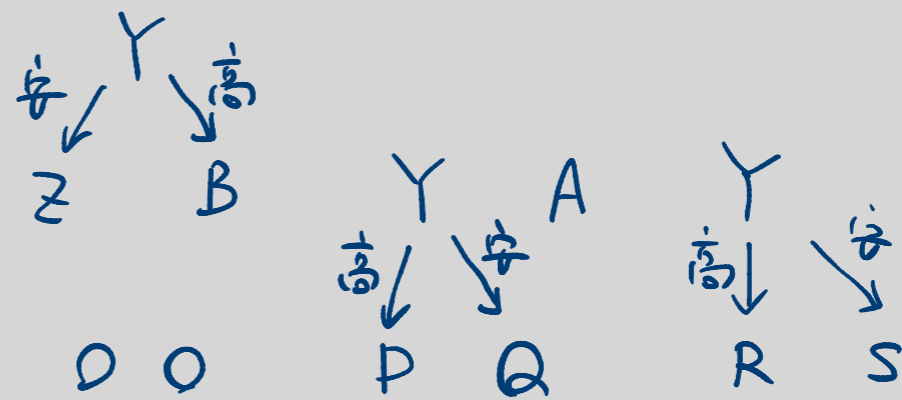
- \* 略奪廉売系

- \* 優越的地位濫用系

- \* 手段としての取引拒絶系行為

- \* 取引拒絶系行為によって別の何かを実現し、それによって弊害をもたらす

- \* 戻り需要事件はその一例





# 排除効果：具体例で 164-166

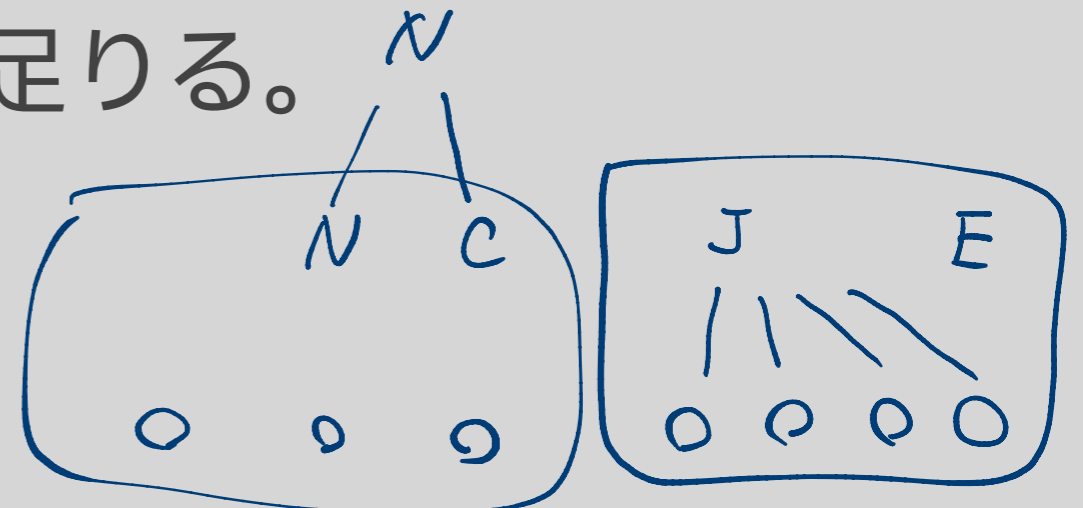
10k168-171

- \* このような場合の考慮要素の列挙は「後付けのまとめ」に過ぎない。記憶不要。具体的な事例を見て、その事案における重要な要素を見落とさないようにすれば足りる。

- \* NTT東日本最高裁判決

- \* JASRAC最高裁判決

- \* マイナミ空港サービス事件の排除措置命令書



- \* 代替的な競争手段が乏しい 可否か

⇒ EF

10k49-50, 171-172

- \* 9k167は応用的なので、その手前の基本を
- \* 通信におけるEF
- \* 電力におけるEF
- \* デジタルプラットフォームにおけるEF

